

## 2016 くじら雲 イルカノート No.2

2016年12月22日

今年も残すところ、わずかな日々となりました。4月から始まった家庭的保育事業は、長野県でも初めての事業で、私たちスタッフも実施しながら理解することが多かったように思います。行き届かないところがたくさんあったかと思いますが、皆様のご理解、ご協力により、ここまで歩んでくることができました。心より感謝いたします。



### 新しいさんぽみち

押野の神社へ散歩に出かけています。山の下へ来てから初めて、両手いっぱいの落ち葉をふりまいて遊びました。子どももおとなも山道のさんぽで、心も体も生き生きとしてくるのがわかります。道のりは、ゆっくり歩いて、遊んで、帰ってくるのに、ちょうど1時間ぐらいでしょうか?みちくさの名人ですから、氷を見つけて遊んではストップ! ドングリや木の枝を見つけてはストップ!



「律子さん(給食担当)が待ってるよ!」「今日はすいとんだよ!」と言ってはみるものの、やはり、みちくさ、よりみちのさんぽです。でもそれこそが、子どもたちには何よりの経験で、暖かくなる11時ごろから活動的になってくるような気がします。太陽の暖かさをちゃんと肌で感じているのでしょうか。暑くなったら上着を脱いで、寒くなったら着ることができて、のどが乾いたら、水筒を飲んで…子どもの感じる能力にいつも驚かされます。



### 鳥さんにごはんあげたい!



ある日、Kくん君とG君が「鳥さんにごはんをあげるの」「ほら~ごはんだよ~」と言って庭のドングリや砂利石をまいて遊んでいました。カモにエサをあげたことがよほど印象に残っているのか、ごっこ遊びになっています。鳥のところへ行けるようになるまで、何かいい方法がないかと考えて、リンゴを薄く切って「鳥に食べもらおう!」とイチイの木にかけてみました。お客様は、まだムシやミツバチです。いつか鳥が食べてくれることを願っています。



### ごろりんスペース

1・2歳児のうちは、まだまだ休息が必要ですが、布団を敷くと、なかなか寝たがらない子どもたち。友達が遊んでいると、自分で寝るのは嫌!でも、あくびをしたりごろごろしているので、長座布団とクッションを置いてみると、ごろりんと寝転がったり、

絵本を読む時にここに集まるようになりました。

食べたいときに食べて、眠くなったら眠る、これが一番幸せですね。



### 冬至のカボチャ団子

冬至なので、律子さんが、カボチャ団子の用意をしてくれ、K君とMちゃんが白玉団子を丸めて、得意のお手伝い！  
↓マル・エビ・雪だるまなど  
思い思いの形を作りました



↓ おかげがしたくて  
思わず、鍋にスプーンを入れて  
しまった！



### お知らせ・確認

- \* 山の下のおうちに、固定電話・FAX がつきました  
欠席の連絡は、8：15～8：30までに固定電話へ。  
8：30以降のご連絡は、携帯電話へお願ひいたします。
- \* 子どもたちと一緒に、近隣の方々へ「冬の間、よろしくお願ひします」とご挨拶に伺いました。  
皆さんがいつもやさしくしてくださいます。保護者の皆さんも山の上同様、ご挨拶をよろしくお願ひいたします。
- \* 年末年始の皆さんのご都合を聞き、12/29（木）～1/6（金）までお休みとさせていただくことにしました。



### 1月の予定

- ★ 1/20（金）新年会・保護者会 場所：明科公民館  
→ 3歳以上の保護者と合同 お時間がある方はご参加ください。  
参加する場合はお知らせください。詳細をお伝えします。  
イルカの子どもたちは山の下で過ごします
- ★ 3歳以上の子どもたちと合同で活動する時は、その都度ご連絡します。

寒くなり、体調をくずされている方もあるかと思います。どうぞご自愛ください。健康で、心豊かにクリスマスとお正月を過ごされますようにお祈りしております。